

令和8年度 市町村国際交流推進組織 連絡会議(研修会)

【テーマ】私たちの茨城県、地域の国際交流協会等は、異なる文化を持つ海外ルーツの住民とどう向き合い共生を進めていくか。住民同士が接しつながらのために、何が求められているか、考え行動しよう。

今年4月発行の笹川平和財団『外国人住民との共生ハンドブック～受入れの基本姿勢と取り組み事例集～』から県外の事例当事者を招き、直接意見交換します(対面参加のみ)

日時:令和8年10月29日(木)13:30～16:00 (受付13:15～)

場所:水戸市国際交流センター 多目的ホール(水戸市備前町6-59)

施設駐車場(無料)には限りがあります。満車の場合各自コインパーキングをお探してください。

公共交通機関の利用をお勧めします。

対象:市町村国際交流協会等の代表者、事務局、事業担当者、など

※代表者が充て職等の場合、組織運営・事業企画に直接携わる方。

※本会議は組織活動の向上・推進目的のため、個人の興味、自己研鑽のご参加はできません。

申込:<https://forms.gle/6He6rdkhqkb5ymtSA>
Googleフォームからお申し込みください。(要申込)

費用:参加費無料

締切:人数に達し次第締め切り (定員50名程度見込)

備考:グループによるディスカッション等を予定しています。

市町村国際交流推進組織がない市町村にも周知いたします。

講師:『外国人住民との共生ハンドブック』全体監修者で笹川平和財団の岩品氏、印西市国際交流協会、鈴鹿国際交流協会の方々にお越しいただきます。

岩品 雅子 氏

(公財)笹川平和財団 中東・イスラムユニット 社会イノベーショングループ 研究員
『外国人住民との共生ハンドブック』全体監修の一員

<事例発表(内容は仮、順不同)>

「共生のための仕組みづくり」 印西市国際交流協会(千葉県)

近年急激に外国人住民が増えている印西市。外国人住民は以前からおり、国際交流協会は2001年から活動。(技術・人文知識・国際業務の労働者の)家族滞在の資格で在留する外国人保護者の安心の場づくりとニーズ把握を両立する挑戦「牧の原グリーンカフェ」を2024年に開始。

「生活」分野の取り組み (公財)鈴鹿国際交流協会(三重県)

外国人施策を個別課題ではなく分野横断的な施策として位置づけ、地域住民の声を聞きながら実情に合った取り組みを進める鈴鹿市。市と連携し取り組む国際交流協会では、毎年「国際交流フェスタわいわい春まつり」を開催。誰もが安心して活躍できる多文化共生のまちづくりを推進。

主催 (公財)茨城県国際交流協会 共催(公財)笹川平和財団
問合せ 029-241-1611 メール iia@ia-ibaraki.or.jp